

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	地球環境局		担当課室	環境保全対策課 フロン等対策推進室		室長 江口博行
会計区分	エネルギー対策特別会計 (エネルギー需給勘定)		上位政策	地球温暖化対策の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特別会計に関する法律第85条第3項第1号ハ、 地球温暖化対策の推進に関する法律第3条第3 項		関係する計 画、通知等	京都議定書目標達成計画		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	アンモニア等元来自然界に存在する物質を使用した省エネ型の冷凍・冷蔵・空調装置は、温室効果の高いフロン類を使用した従来型の装置より高価等のため普及が進まない状況にあるので、その導入費用の差額を民間事業者へ補助することにより導入拡大・更なる普及を図り、もって温室効果ガスの排出を削減し、地球温暖化防止に資する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	小売業、物流業等の冷凍・冷蔵・空調設備に関し、自然冷媒を使用した省エネ型の冷凍・冷蔵・空調装置を導入しようとする民間事業者に対して、当該設備導入費用の一部(フロン類冷媒を使用した同等の冷凍能力を有する装置を導入する場合の費用との差額の3分の1)を補助する。					
実施状況	平成21年度は、冷凍食品等の食料品製造業、運輸業等の民間事業者11者が、冷蔵倉庫等を新設・設備更新するなどした際に、アンモニア等の自然冷媒を使用した冷凍・冷蔵・空調装置の導入に必要な費用(工事費)に対して158百万円の補助を行った。(なお、平成20年度からの繰り越し 2件、50百万円)					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	—	300	210	160	500
	執行額	—	168	208		
	執行率	—	55.9%	99.2%		
	総事業費(執行ベース)	—	1,669	3,501		
自己点検	支出先・ 用途の把握 水準・ 状況	事業採択時には、公募要領により審査を行っており、事業完了後に事業主体から実績報告書の提出を受け、証拠書類及び整備された施設等の確認を行っている。また、事業実施後に提出される温室効果ガス削減量等の成果報告書により状況を把握している。				
	見直しの 余地	21年度は、20年度の執行状況を踏まえ、予算額を1.6億円に減額した。22年度予算額は21年度と同額としている。また、本事業による導入効果等について、会社ホームページへの掲載等による広報を、補助対象事業者に要請・指導しており、今後、さらに広く補助が使われるよう、漁業等現在応募が少ないものの導入増が見込める業種への応募勧奨等により、補助金活用を促進する。				
予算 チーム 監視 の 所 見 率 化	一部改善 (省エネ型の冷凍・冷蔵・空調装置の普及を加速させるため、事業内容を見直し効率的な事業実施に努めるべき。)					
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額) (百万円)					
		19年度	20年度	21年度		
		—	—	50		
	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度の執行額には、平成21年度への繰越額も含んでいる。 平成21年度の予算額(補正後)、執行額には、平成20年度からの繰越額(2件、50百万円)も含んでいる。 					

環境省
208百万円

・省エネ自然冷媒冷凍等装置導入促進事業
省エネ自然冷媒冷凍等装置を導入しようとする民間事業者に対して、当該設備導入費用の一部を補助する。

東北地方環境事務所
16百万円

関東地方環境事務所
65百万円

中部地方環境事務所
50百万円

公募・補助
A.民間事業者(2事業者)
16百万円

公募・補助
B.民間事業者(4事業者)
65百万円

公募・補助
C.民間事業者(2事業者)
50百万円

【内容】
省エネ自然冷媒冷凍等
装置の導入

【内容】
省エネ自然冷媒冷凍等
装置の導入

【内容】
省エネ自然冷媒冷凍等
装置の導入

近畿地方環境事務所
25百万円

中国四国地方環境事務所
13百万円

九州地方環境事務所
40百万円

公募・補助
D.民間事業者(1事業者)
25百万円

公募・補助
E.民間事業者(1事業者)
13百万円

公募・補助
F.民間事業者(3事業者)
40百万円

【内容】
省エネ自然冷媒冷凍等
装置の導入

【内容】
省エネ自然冷媒冷凍等
装置の導入

【内容】
省エネ自然冷媒冷凍等
装置の導入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A.マルヨ水産株式会社			E.カルピス株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	11	工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	13
計		11	計		13
B.株式会社二葉			F.日本生活協同組合連合会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	25	工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	25
計		25	計		25
C.東洋水産株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	25			
計		25	計		0
D.日水物流(株)株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	省エネ自然冷媒冷凍等装置	25			
計		25	計		0